



令和元年東日本台風から1年… ～復旧・復興へのあゆみ～



令和元年10月の東日本台風（台風19号）の襲来から1年を迎えました。県北地域を中心に記録的な大雨となり、本市でも久慈川・那珂川で堤防決壊や護岸の崩壊により、床上浸水や断水など甚大な被害を受けました。

災害ボランティアセンター（市社会福祉協議会）に登録されたボランティアの皆さんや、国や県、他市町

村からの応援職員の派遣により、浸水家屋の片づけや泥の掻き出し、災害ゴミの受け入れなど、たくさんの協力をいただき、復旧・復興へと進めてきました。

水害被害から1年たった今、現在も災害復旧の取り組みは進行中ですが、写真等の記録を通して今後の風水害への備えを、もう一度再確認しましょう。

令和元年東日本台風（台風19号）の被害状況

罹災証明書発行状況（令和2年9月2日現在）単位：世帯

市内全体	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
	47	85	275	100	507
大宮地域	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
	31	51	169	56	307
山方地域	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
	3	13	71	20	107
美和地域	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
	0	0	0	6	6
緒川地域	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
	0	0	5	6	11
御前山地域	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
	13	21	30	12	76



▲災害ゴミ置き場（旧世喜小学校校庭）



▲御前山地域 国道123号（野口地区）



▲道の駅かわプラザ



▲大宮地域（富岡地区）

復旧状況



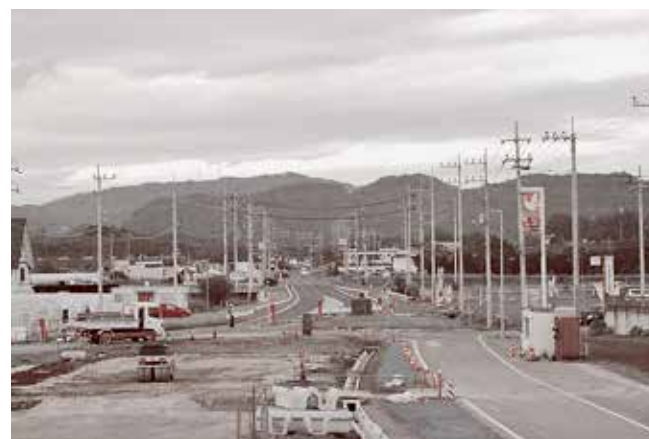
▲御前山地域（野口地区）写真：国土交通省提供



▲山方地域（小貴地区）



▲大宮地域（塩原地区）写真：国土交通省提供



▲御前山地域 国道123号（野口地区）



▲大宮地区（富岡地区）



▲緒川地域（下小瀬地区）

風水害に備えて避難行動を考えましょう！ 事前に作成『マイ・タイムライン』

風水害の発生に備え、家族構成や生活環境に合わせた自分自身の避難計画を事前に作成することで、いざという時の避難に役立ちます。「いつ」「どのような行動をとればよいか」を、あらかじめ整理し、あわてず安全な避難行動がとれるよう、事前の準備をしましょう。

※詳しい内容は、常陸大宮市ホームページや広報常陸大宮9月号に掲載しています。



▲市防災ポータル
QRコード